



1



2

さあ～出発。
定刻5分前
7:40 宇治の近鉄大久保駅前

- メンバーのやる気がうかがえる。少し眠いが...



3

2台の車は、一路能登に向けて走る走る。

- 途中のトイレ休憩は「賊ヶ岳SAと尼御前SA」



4



5

1Fロビーで交流

「多くが、和倉温泉の老舗旅館に働いている。1月、2月は雇用調整助成金が出たが今後は…。それと職種変更の運用緩和されれば、この近郊で働けるが、そうでなければ、見知らぬ他府県へ行かねばならない…」

- それでも、京都からの物資、本部から預かった「お年玉」を一人一人に渡したり、京都から来たベトナムの仲間4人と交感する中で、彼女達に少しの笑顔。
- そして、記念写真のこの14人の彼女たちは、水産加工会社が操業再開すれば移籍する。それは、遠く山口県であったり…。
- 1週間前（3/10）来日の別途研修生30人と、彼女たちの部屋で会う。記念写真の約20人とこの30人の計50人のベトナムからの技能実習生が滞在している。つまり、地震を体験していない彼女達。「シンチャオ」（日越語併記の京都支部作成冊子を開いて、写真など見て談笑。まだ能登の現実を未体験なので、まだ無邪気ではある…。
- 地震体験の14人の表情の変化→最初の挨拶時は、おっかなびっくり、怪訝そう。

物資、お年玉でにっこり。

わざわざ京都から来た我々日本人にはそれでもこわばった笑顔。

彼女たちが本来の笑顔が見れたのは、同行のベトナムの同胞4人とのお喋りから。

同行の彼らも、そこが一番嬉しかったと。

6



珠洲市、七尾市から避難してきた実習生たち

7



珠洲市、七尾市から避難してきた実習生たち

8



珠洲市、七尾市から避難して
きた実習生たち

9



新しくベトナムから来た実習生たち

10



新しくベトナムから来た実習生たち

11



七尾駅近くの「屋台村」

12



13



14



一本杉通りにて

15



七尾港に「食祭市場」
（採れたて海産物をそ
の場で食べられる市
場）

- この市場の地面の液状化、
隆起、陥没が激しい、岸壁も
崩れている。
- 海産業が崩壊。

16



17



18



同行の国澤氏が義母の
介護で体験した、元日
午後4:10の現場。

恵寿病院駐車場の地面の隆起、用水路破損。

19



近くの和倉温泉街。

全ての旅館が損傷。温泉街がゴーストタウン。こ
ここで働いていた(22旅館、1,100人)ベトナム人
だけでなく、多くの日本人も今どこに…。観光業
も崩壊。

20



中能登町レストラン なごみ



羽咋市ホテル 羽音碧々

この後、日帰組と別れ、宿泊組は羽咋へ

21



昼間の羽咋駅



羽咋市役所

夕暮れは美しいが、夜は人がいない。無人の羽咋駅は寒い。

22



23

ホテルから車で数分の
「被災者支援民主共
同支援センター」へ。

- 東京など各地から応援スタッフ
が来ている。
- 面談の米沢氏は、「地元の北
国新聞は、外国人被災者を取
り上げている」。



24

「あつまらんけ〜のと」 (金沢市社会福祉協議会)

- 金沢へ。
- 駅近くの「あつまらんけ〜のと」。金沢市社会福祉協議会が中心の支援物資、避難生活必需品の配布、カフェなどで人々の憩いの場となっている。
- 2日前の北陸新幹線延伸、北陸割で、さすが石川県の県庁所在地、活気にあふれていた。



25

令和6年能登半島地震により金沢市で避難生活を送られている方へ

2月17日(土)～3月31日(日)

月・水・木・金・土・日

10:00～16:00

※火曜日休館
※期間中の祝日も開催します

カフェ ※無料提供

福祉喫茶つづみ門で、飲み物（コーヒー、紅茶等）でも飲まんけー！待っとるよ◎

避難生活必需品の配布

食料品、衣服、下着、子ども・おとな用オムツ、生理用品 など

※お持ち帰りの袋や入れ物をご持参ください。
※数に限りがありますのでご了承ください。

今週もアラサに行かんけ！

金沢ふらっとバス利用

此花ルートを利用し、「病院通り口」で下車。

「あつまらんけ〜のと」

26

昼過ぎ、予定行程終了。
ささやかな買物をし、
14:00 金沢発
17:00 過ぎ京都着



27

参加者の感想（その1）

石川県能登に初めて行ってきました。

そして、2024年初頭の地震による家屋や道路の破壊を生まれて初めて目撃しました。廃墟となった家々や傷んでひび割れた道路を見てとてもショックで怖かったです。

地震で家が被災した人の避難所に行って、実習生の話聞いて支援品を渡しました。ベトナム人同士で地震の話聞いて交流し、これからも被災したベトナム人に寄り添って応援することを伝えました。

私は、地震の犠牲者とベトナム人実習生に対する日本人の愛、人間性、そして団結力に本当に感動しました。

レー・ティ・ティン・タム

28

参加者の感想（その2-1）

3月17日の記念日

私はグエン・タインと申します。2017年に実習生として日本に働きにきました。7年ぐらい京都で仕事をして、楽しい生活を送っています。日本では天災が多いとよく聞いていますから。日本に来て以来、ベトナムでの家族はいつも心配して、私も不安な毎日を思っています。お神様のおかげで、今まで、一回だけ地震に遭いました。その時、3ヶ月ぐらい日本に来たばかりですから小さい地震なのにとっても怖かったです。どうしてかということ、ベトナムには地震がないですから。日本に来る前に地震の時にどうすればいいか、命を守る方法とかを覚えてもらったんだけど、泣いたほどびっくりしました。

ある日、石川県でみなさんが楽しんで新年を迎える2024年1月1日に巨大地震が発生しました。マグニチュード7.6で能登半島を襲って大きな被害を受けました。地震の時に津波警報も出しました。ベトナム人は家を出て日本人の近所の指示に従って避難所まで逃げたと述べました。ニュースを見て、悲しかったです。何か助けられればよかったと思います。先日、日本語ボランティアの國澤先生から”石川県に滞在ベトナム人を知っていますか、被害の皆さんに何か助けますというメッセージが来ました。その時にやり取りをして、あ、私も行きたいと言いました。ベトナム人ですからそこで話し合いとか通訳などができると思って参加させてもらいたいです。

グエン・タイン

29

参加者の感想（その2-2）

先生は友好教会長に私のことを話して、期待に答えました。とても嬉しかったです。同行の人は私の旦那さんとベトナム人2人と先生と協会の4人です。3月17日の7時45分ぐらい出発して12時ごろ石川県の羽咋研究施設に着きました。今、ここに50人ぐらいのベトナム人が避難していて会社に戻る日を毎日待っていて不安です。そのうちに元の会社に戻れない人も20人です。他の人は日本に来た1ヶ月ですから、まだ会社がわかりません。みんなは1ヶ月ぐらい組合で研修しています。思わず、地震に遭って、いろんな話を聞きました。怖いとか心配などの気持ちが皆さんの顔を見て分かりました。できるだけ、アドバイスしたり、励ましたりしました。

1時間ぐらいみなさんと交流して記念写真を撮って、協会支援チームの日本人の皆さんからも沢山のことをベトナム人たちにやってくれて心からありがたいです。差別がない環境を作ってなんの事があってもそばに親切な方がいますから心が温かいです。とても感動しました。

長い時間で車を運転して熱心で皆さんと話して、困ったことを助けたのは私にとって言葉が違いますが優しい心は同じです。皆さん、日本人への恩返すために頑張って乗り越えて貢献してくださいね。

そのあと被災所を見回って写真を撮って京都に帰りました。意味がある1日ことができました。協会のみなさん、本当にどうも、ありがとうございます。皆さんと同行させていただいて感謝しています。石川県の皆さん、頑張ってください。前に困ったことがたくさんあると思いますが頑張ったら乗り越えます。またいつか美しい石川県に戻りたいです。

グエン・タイン

30

参加者の感想（その3）

私はカムです、この前、技能実習生として日本に来ました、今は神戸市で働いています、

2024年1月1日、石川県で大地震が起きたことを多くの命が失われたニュースで聞いてとても驚きました。3月17日（日）に貴重な機会で羽咋市へボランティア活動を参加しました。そのところで経験した事がなしの実習生の女の人たちに出会えました。皆はほとんどベトナムの中部からの出生です。ベトナムの中部は地震がないですが、いろいろな災害に遭っているところです。皆は心の中に決心や計画を抱き、日本に来ましたが、地震で仕事ができなくなり、どれほど困っていたのか、私には想像できません。羽咋研修施設センターで多くの技能実習生たちに話し合いました、明るい顔の皆から地震が起きた日から今まで羽咋研修施設センターで避難の代わりに、生活や日本語の勉強し、政府や組合から支援してもらったことを聞いて、私も安心でした。

それから、技能実習生たちを別れて、國澤先生に地震後の七尾市の実際の状況を見て連れて行ってもらいました。実際を見ると、道路で人がいないし、営業閉店の看板がいっぱいし、道が凸凹になり、断水が続いているそうです。実際に体験ができた私はなんとか気持ちが辛くなってしまいました。

外国人の私は日本語を勉強している時、今まで一番好きな言葉は思いやりです。生活の中で日本人はどんな場面でも思いやりの気持ちを持った人を見た事がありました。今回こそ石川県を向かって、みんなのその思いやりの気持ちを発揮していただくことを期待です。

石川県の皆さまのご無事と一日も早い復旧を心よりお祈りしております。

チャン・クオック・カム

31

参加者の感想（その4）

2024年3月17日、在京都ベトナム学生青年協会の私は日本ベトナム友好協会京都支部の会員と一緒に、2024年1月1日に地震の影響を受けた羽咋でベトナム人実習生に対して給付品とお年玉を配布しました。

この活動は、新年の祝福として、また地震の影響を受けた実習生への支援として行われ、日本とベトナムの友好関係を深めることを目的としています。給付品には生活必需品や日用品が含まれており、お年玉は新年を祝う伝統的な贈り物として提供されました。

実習生からは支援に対する感謝の声が多く聞かれ、日本ベトナム友好協会の活動が両国間の友情を象徴するものとして評価されました。

今後もこのような文化交流や支援活動が展開されることが期待されています。

•

チャン・ズィ・クィー

32

【能登支援・3月17～18日 京都救援隊】

ベトナム人メンバー

チャン・ズイ・クイ

グエン・タイン

チャン・クオック・カム

レー・ティ・タイン・タム

日本人メンバー

荒木 穂積

田中 栄治

國澤 幹彦

鈴木 元

富田 秀信



33

次回活動予定

- ・ 4 /25(木) 本部と日本AALA共催・現地集合
- ・ 次回案内→ 5 /25 (土) 京都救援隊第二弾

34